

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

6月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2021.8.20 No.93

特 集

和装文化
伝承会
×
市議会

MENU

- 特集……………P 2
- 夏休み子ども議会探検開催……………P 4
- こんなことを審査・調査しました…P 6
- こんなことを聞きました……………P 8
- Future……………P18



和装は、心が躍る非日常の始まり

議員を目指した初心を 忘れないで



活動に使用している解説ボード

和装文化伝承会とは

日本の伝統的衣装である「着物」についての知識を次世代に伝承し、和装文化を守っていくことを目的に設立された団体。

成人式での着付けボランティアや中学校で浴衣・茶道体験教室を開催するなど、精力的に活動している。

<和装の魅力は？>

- ◆心が躍って普段とは違った自分になれるところです。仕草も変わって、おしとやか、きらびやかになることができます。
- ◆和装することによって、多くの人とコミュニケーションをとることができます。
- ◆同じ着物を親子で引き継ぐことができるということです。

<活動で意識していることは？>

- ◆着物の着付けをとおして着物の特性やマナーを知ってもらっています。
- ◆普段の生活とは違った文化を知りきっかけにもらえるよう意

識しています。

- ◆着物の種類によって、着方のルールがあります。そういったルールの背景も知ってもらえるよう活動しています。

<忘れられないエピソードは？>

- ◆帯の緩みや襟のずれなどの着崩れを直した際に、いただいた笑顔を忘れることができません。
- ◆着付けなどのお手伝いをした人が、良い思い出として経験を持ち帰ってくれたときは、自分のことのように嬉しいです。

<和装を身近に感じるには？>

- ◆和装して参加するようなイベントが必要だと思います。
- ◆お正月などの節目に、日頃と違った装いをしようとする気持ちが必要ではないでしょうか。
- ◆幼少期から和装文化に触れてもらい、好きになってもらうことが大切です。

<和装文化に変化は？>

- ◆着物の柄に、昔はなかったような洋風なものが増えてきています。
- ◆髪型や持ち物も含め、トータルコーディネートをする人が多くなってきています。

<今後の目標は？>

- ◆着物を着る機会のない人へ、和装の魅力を伝えたいと思っています。
- ◆学校に訪問し、多くの子どもの和装文化を広めたいです。
- ◆女性だけではなく、男性にも和装文化を広めたいと考えています。

<那須塩原市の魅力は？>

- ◆自然と産業のバランスが魅力だと思います。
- ◆住みやすくあまり不満を感じません。
- ◆若者に人気があって、おしゃれな街だと思います。

<市議会議員の印象は？>

- ◆身近なことを考えてくれていて、見逃されそうな小さな事にも光を当ててくれると感じています。
- ◆市民から選ばれた市民目線を大切に持ってほしいです。
- ◆選挙ポスターでしか見たことがありませんでした。遠い存在に感じていました。
- ◆選挙の時にしか顔を見ることがありません。市民の声を市政に届けているのか心配です。
- ◆議員を目指した初心を忘れないでください。

夏休み子ども議会探検を初開催

事業概要

議会の役割や仕組みの学習、議員との交流をとおして、市議会に興味を持ってもらうことを目的に、市内在住の小学生を対象に開催しました。参加者は、議員による議会の仕組みの説明を受け、正副議長と懇談を行い、最後には議場で質問を行いました。

当日の様子はこちらから！
市議会 Facebook ページ



夏休み子ども議会探検レポート



参加者の皆様を法被姿でお出迎え。
この事業を担当する広聴広報委員会で、より良い内容となるように準備を進めてきました。

正副議長室では、正副議長から名刺をもらい、お部屋を見学し、懇談を行いました。
懇談では、この事業に参加したきっかけや市議会の印象などについて話しました。



委員会室や議場では、市議会の仕組みについて説明を行いました。
内容は、少し難しかったかもしれませんが、ここだけは伝えたい！という議員の思いがこもっています。
熱の入る説明を、真剣に聞いてくれました。



市議会の仕組みの説明の後は、復習を兼ねたクイズを行いました。



最後は、議場での質問です。

質問は、議員が会派代表質問や市政一般質問で実際に使用する「議員質問席」から行いました。
議員になろうと思ったきっかけや新庁舎についてなど、多岐にわたる質問が議員へされました。

感想



相馬大輝さん、高秀旬さん、齋藤光さん

一番楽しかったことを教えてください
正副議長のイスに座ったことです。

市議会のイメージは、参加前後で変わりましたか

参加する前は、どんなところかよくわかりませんでした。議会についての説明を受けて、興味が湧きました。

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 6号	那須塩原市監査委員の選任について	同意
同意第 7号	那須塩原市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意第 8号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第 51号	令和3年度那須塩原市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第 52号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第 53号	那須塩原市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議案第 54号	財産の処分について	可決
議案第 55号	財産の処分について	可決
議案第 56号	財産の処分について	可決
議案第 57号	財産の処分について	可決
議案第 58号	第2次那須塩原市総合計画の改定について	可決
議案第 59号	市道路線の認定及び廃止について	可決
議案第 60号	令和3年度那須塩原市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第 61号	契約の締結について	可決
議案第 62号	財産の取得について	可決
発議第 11号	総合計画審査特別委員会の設置について	可決
発議第 12号	参考人の出席要求について	可決
発議第 13号	庁舎建設検討特別委員会の設置について	可決
発議第 14号	議会活性化特別委員会の設置について	可決
発議第 15号	議員の派遣について	可決

請願・陳情の提出方法

- あて先（那須塩原市議会議長あて）、提出年月日、趣旨および理由などを簡潔に書いてください。
 - 住所・氏名を記入し押印してください。
 - 請願書を提出する場合は、紹介議員（那須塩原市議会議員）の記名および押印が必要です。
 - 請願・陳情者が多数のときは代表者を決めてください。この場合、代表者以外は署名簿に住所・氏名を記載し提出してください。
 - 必要により資料を添付してください。
 - 郵送による提出の場合は議長預かりとなり、審査されませんのでご注意ください。※
 - 請願・陳情の提出は、原則議会事務局へご提出ください。
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受付方法は、事前に議会事務局へ連絡・ご相談ください。

総務企画常任委員会は付託案件がありませんでした
※ ◎は委員長、○は副委員長

こんなことを審査・調査しました

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎森本彰伸○星野健二、三本木直人、林美幸、小島耕一、佐藤一則、大野恭男、齋藤寿一、金子哲也

市が傷病手当金を立て替えることで、休みがとりやすくなります

給与等の支払いを受けている人が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の傷病手当金の支給範囲を変更し、業務に服することができない期間に事業者が給与等を支払わない場合、市が一時的に傷病手当金を支給することで、被用者がより休みやすい環境を整備しました。

問 被保険者である期間が12ヶ月に満たない場合、どのように傷病手当金を計算するのか。

答 直近3ヶ月の賃金を賃金の発生した日数で割ったものが1日あたりの賃金となり、3分の2を掛

けたものが1日あたりの傷病手当金になる。それに労務不能期間の日数をかけたものが支給額となる。

問 事業所への傷病手当金の請求と徴収はどのように行うのか。

答 世帯主から申請がされ、傷病手当が支払われていないことが確認された時に、市から事業主に請求をする。支払いの期限は設けていない。

問 傷病手当金の支給には国の支援があるものなのか、また、近隣市町でも同様に行われるものなのか。

答 国からの財政支援があり、近隣市町でも同じように支給される。

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
【委員】◎田村正宏○益子大弘、堤正明、室井孝幸、齊藤誠之、平山武、松田寛人、眞壁俊郎

建物の建築が環境に優しくなります

建築物のエネルギー消費性能の向上を図るため、一定規模以上の非住宅建築物のエネルギー消費性能基準適合義務や認定制度などが規定されている建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律が一部改正されたことに伴い、本市の特定建築物を対象とした建築物エネルギー消費性能適合性判定に係る審査手数料の区分等を改正します。

問 この改正によってどのような効果が期待できるのか。

答 現在非住宅の場合の適合義務が2,000㎡以上から300㎡以上となることから、消費性能の高い建物の

建築が今後期待できる。

問 消費性能判定において、今後環境部分に配慮する建築物ができる方向に進んでいくということか。

答 今回の法改正については、パリ協定の目標達成のために建築物についての規定を設けたものであり、低炭素等効果が期待できると考えている。



省エネ基準適合認定マーク

予算常任委員会

【委員】◎山形紀弘 ○森本彰伸 ○田村正宏、その他全議員

市が運用する SNS の安全性を高めるためにアドバイザーを委託します

問 委託料としてソーシャルメディア運用管理アドバイザー 49万5,000円が計上されているが、算出根拠と業務内容を伺う。

答 算出根拠は9か月分で月額約5万円であり、適宜に相談や支援を受ける本市の弁護士と同様な業務内容と考えての金額となった。各種ソーシャルメディアの運用や管理に関してアドバイザーから専門的な助言を受け、情報を市民に迅速かつ安全に提供するために業務を委託する。

オリンピック・パラリンピックのイベントを開催します

問 オリンピアン・パラリンピアン謝礼109万円とあるが、具体的にどのようなイベントを予定しているか。

答 オリンピアン・パラリンピアンに、講演を行っていただくことや、競技のパフォーマンスを見せていただくことを想定している。



森本 彰伸議員



英語教育について

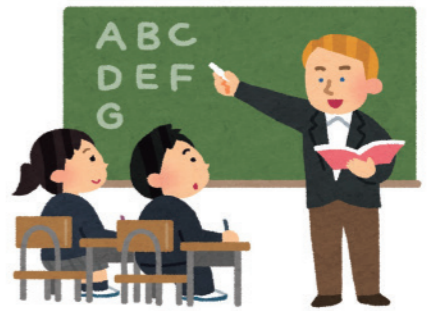
問 ALT の活用による英語教育の課題について伺う。

答 教育長 コロナ禍での業務では、人との距離を保ち、マスク着用などの感染防止対策を講じており、児童生徒とコミュニケーションを図ることに重点が置かれている ALT の業務においては、お互いの表情が分かりづらいといった問題が生じているが、ジェスチャーを交えた表現や、児童生徒の様子を注意深く観察することで補っている。ALT 全員を対象に研修を毎月実施しており、英語教育専門員が定期的に授業を参観し指導・助言を行っている。必要に応じて個別に授業についての相談支援を行い授業力の向上を図っている。

新型コロナウイルスの影響で海外からの入国が制限されていたため、人材確保が大きな課題となっていた。人材派遣の ALT は、今年度 2 人の派遣が間に合わず、一時的に ALT が不在の学校が 2 校あったが、5 月中旬には 2 人とも配置され、この課題は解消されている。国が地方自治体などと協力して、海外の青年を国際交流員や ALT として派遣する事業「JET プログラム」を利用して、昨年度から ALT 1 人を配置予定でいたがいまだに来日できていない。そのため、ALT が不在の学校への対応として、ALT を 2 人配置している学校から週に 2 日、当該校に訪問させている。

問 本市の子どもたちは英検 IBA において、中学校 3 年生でどのぐらいの割合の子が 3 級レベルに達しているのか伺う。

答 教育長 令和 2 年度のデータで、英検 IBA 3 級程度の生徒は 57% である。



※ ALT…外国語を母国語とする外国語指導助手
 ※英検 IBA…英検のプレテストとして位置づけられる団体受験専用試験



金子 哲也議員



市道南郷屋・睦 420 号線について

問 中央通りが立派に出来上がって長い年月が過ぎたにもかかわらず、その延長線上の約 300 m ほどが狭いままで危険極まりない状況である。いつ工事がなされるのか詳細を伺う。

答 建設部長 本線は、狭いが一定の交通量があるので、待避所として全線約 300 m のうち中間部に当たる 100 m の部分について現在の幅員 4.6 m から 7 m に拡幅する計画である。今年度の予算 700 万円については、土地購入費と電柱移設など物件補償費を計上しており、工事は令和 4 年度を予定している。

問 なぜこの 300 m ほどのところを全部拡幅して車がすれ違いできるようにしないのか、将来的にどのように考えていくのか伺う。

答 建設部長 来年度工事が終わり、交通の状況、交通量やすれ違い、安全度等を確認しながら、次の計画を考えていきたい。

市のシニアセンター及びデイサービスについて

問 黒磯地区にはシニアセンターがあり、高齢者市民に大いに活用されている。西那須野地区にも高齢者のためのシニアセンターができないか伺う。また、デイサービス施設について、黒磯地区には 9 か所のデイサービス施設があるが、西那須野地区には 1 か所しかない、これについてはどのように考えるのか伺う。

答 保健福祉部長 新たにシニアセンターを設置することは現在のところ考えていない。元気アップデイサービス事業について、さらに追加することは現在のところ計画していない。



那須塩原市シニアセンター



公明クラブ
 田村 正宏議員



新型コロナウイルスワクチン接種について

問 医療従事者への接種状況について伺う。

答 保健福祉部長 医療従事者向けの集団接種は 6 月 2 日に完了した。医療従事者が 100 名を超える市内の 5 つの医療機関においては概ね完了との報告を受けている。

問 ワクチンの安全性の情報発信について伺う。

答 保健福祉部長 今後、医師会長と市長が対談する動画を配信するなどさまざまな手法で安全性の情報を発信していく予定である。

問 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などがある接種希望者への合理的配慮について伺う。

答 保健福祉部長 手話通訳派遣団体及び当事者団体と協力して高齢者の聴覚障害の人の集団接種を行ったところであるが、今後も、障害のある方が希望通りワクチン接種が受けられるよう支援団体と連携して適切に対応してまいりたい。

問 今後、高齢者等の優先接種の次に行われる一般市民への接種において、地域特性に応じて優先順位をつける考えはあるか伺う。

答 市長 本市の感染対策に協力していただいている観光事業者の方々などへの配慮も検討していきたい。

問 引きこもりのの方々に対してワクチン接種を課題解決の絶好の機会と捉え、解決を図る考えはあるか伺う。

答 保健福祉部長 引き続き地域包括センター、民生委員、自治会などと連携して、見守り及び情報の共有を図り、ワクチン接種も含めて継続的な見守りの実施を強化していきたい。



那須塩原クラブ
 齊藤 誠之議員



豚熱の発生の対応について

問 このたびの豚熱発生について、風評被害などが懸念される中、当該養豚事業者への支援も行わなければ、本市の畜産業への影響は多大なものと考えられる。国や県を通して支援が行われる中で本市においても独自の支援を行うべきかと考えるが、市の考えを伺う。

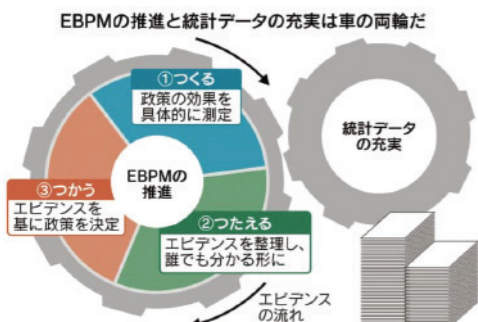
答 産業観光部長 豚の再導入をする場合には、国の指針に基づき、段階的に導入していくことになるが、再出荷するまでには最短でも約 1 年半かかる上、多大な資金が必要になるため、まずは経営再建に向けた融資を利用しやすくするために利子補給制度の創設に取り組んでいく。

これは国の融資制度で、法人の場合約 8,000 万円まで借りられるもので、基準の利率 1.6% のうち、国が 0.8% を利子補填し、残り 0.8% が畜産業者が支払うことになるので、この残り部分を市で利子補給できるものである。

本市の証拠に基づく政策立案である EBPM の推進について

問 EBPM【Evidence Based Policy Making】「エビデンス・ベースド・ポリシー・メーカー」(証拠に基づく政策立案)、政策目的を明確化させ、その目的のため本当に効果が上がる行政手段は何かなど、政策の基本的な枠組みを証拠に基づいて明確にするための取組の導入を進めている自治体が多くなってきているが、本市の考えを伺う。

答 市長 さまざまな統計データ収集、分析、活用して、政策立案に反映させる EBPM の考え方を政策立案に活用していきたいと考えている。





山本はるひ議員



二元代表制における議会の役割について

問二元代表制における議会の役割についての考えを伺う。

答市長 政策の形成段階からもっとコミットしたいと思われる議員、議会や委員会での質疑をしっかりと通年議会であってもやっていきたい議員、いろいろな考えがあると思っている。議会と執行部で責任を分かち合うことが大きなポイントで、執行部と議会とよく審議をしていく必要があると思っている。

問そのためには執行部と議会が情報の共有をしなければならぬが、どう思うか。

答市長 議会に対しての情報の出し方は、正直まだ結論はでていないので、議員からご指摘いただければと思っている。

黒磯駅前の都市再生整備計画事業について

問計画の最終事業費はどれほどだったか。目的は達成したか、住民の満足度はどうか。

答建設部長 まちなか交流センターや那須塩原市図書館の施設規模の変更で約48億6,920万円だった。おおむね目標は達成できたと考えている。事後評価はコロナ禍が収束して、状況を見て時期を検討していきたいと考えている。

問整備は終了したが、黒磯駅前とその周辺地区の活性化の筋道はできているのか伺う。

答建設部長 まちなか交流センターや那須塩原市図書館など施設の整備を行った。地域住民の方々と連携して、施設の利活用を含めて進めていきたいと考えている。



黒磯駅前の日用市の様子



佐藤 一則議員



学校教育の充実について

問小中一貫教育について伺う。

答教育長 各中学校区ごとに家庭や地域と子どもたちの状況を共有し、義務教育9年間の連続性を意識した学習指導や生活指導を行っており、健康面、学習、生活の様子をデータベース化している。

問学校と家庭・地域の連携について伺う。

答教育長 全中学校区で運用が始まった地域学校協働本部活動を中心に、家庭、地域との更なる連携を進めたい。

問新しい時代に必要となる資質・能力を育成する授業づくりの推進について伺う。

答教育長 生きて働く知識・技能。未知の状況にも対応できる思考・判断・表現力。学びを人生や社会に生かそうとする力・人間性。この3つの資質・能力の育成に向け、「ワクワクドキドキ」できる授業を展開できるよう努力している。

問教育相談の充実について伺う。

答教育長 定期的に行う教育相談や児童生徒の悩みや問題を解決するために随時行う教育相談を行っており、状況に応じて心の教室相談員やスクールカウンセラーが対応している。

問特別の教科道徳の充実について伺う。

答教育長 考え議論する道徳、主体的・対話的で深い学びを視点とした授業が行われ、授業の質の向上が図られていることが成果。課題は、自主的に地域に貢献する児童生徒の意欲や態度を育むことだと考える。今後、家庭や地域と連携し、さまざまな考え方に触れる機会を増やし、ICTを活用して、友達と考えを共有する場面を取り入れた授業を推進していきたい。



益子 丈弘議員



水稲経営を支えるために

問農業用水施設について、地権者や耕作者などの意見はどう反映されているのか。

答産業観光部長 設計段階において意見を聞いている。新設で規模が大きければ、なおさら地域の意見を設計に反映している。また、通学路など状況に応じ対応をしている。

問近年、災害が頻繁で激甚化、大規模化の様相を呈しているが、国や県へ整備基準の変更を働きかけられないか。

答産業観光部長 農業用施設の設計は、国などの基準で行っている中で毎年改定されている。地域の特性に応じて運用できる部分もあるので、まずは個別に弾力的な運用の必要性を県などと調整するなどから始めたい。

次世代の活力をまちづくりに

問若者のまちづくりの参画について、どのように支援していくのか。

答市長 市民活動センターで情報の提供等、団体とのコーディネートを行っている。今後はセンターに登録されていない団体などの情報を集め、さらに若者を応援していく機運を高めていく。

問若者を対象とした社会参加促進事業、スキルアップ講座の今後は。

答企画部長 元年度に社会参加促進事業で中高生、大学生を中心に、実際に活動した人と交流などを行った。スキルアップ講座も情報発信、アイデアの出し方など基礎的なことを学んだ。今後も自分事として、どう捉えていくのかを中心に活動の支援を考えたい。



鈴木 秀信議員



地域学校協働本部推進事業の進捗状況について

問協働本部の組織整備及び活動状況は。

答教育長 市内の中学校区を単位として、昨年度までに8つの本部が設置され、今年度2つの本部を設置することで、市内全域において整備が完了する。活動については、地域学校協働活動推進員52名を中心に、地域の特性に応じたさまざまな取組を行っている。

問推進員の研修をどのように行っていたか伺う。

答教育長 情報交換も兼ね年に4回フォローアップ研修を行って、推進員の資質向上を図っている。

問学校運営協議会設置に向けた準備について。

答教育長 学校運営協議会の設置が努力義務であることは十分認識している。10の地域学校協働本部事業の活性化が確認できれば、設置に向けた準備を進めていきたい。

学校の施設整備について

問暑熱環境が厳しくなる中、遮熱や遮光材を使用した熱中症のリスク低減の工夫について伺う。

答教育部長 暑熱対策の一つの例として、屋根の塗装に遮熱性の塗料を使用するなどさまざまな対策の検討が必要だと考えている。

問特別教室のエアコン設置について、財政状況を見ながらというのは、一括設置なのか優先順位をつけての設置なのかを伺う。

答教育部長 一括設置ではなく、使用頻度の高い理科室や音楽室への設置を優先して検討する。

問トイレの洋式化改修計画はあるか伺う。

答教育部長 残る和式トイレの洋式化の必要性について、財政状況を見ながら検討していく。





林 美幸議員



包括的支援体制の整備「不登校児の居場所」について

問 何らかの理由で学校に通うことができなくなっている本人、保護者及び学校への適切な支援として、家庭と学校以外の居場所は本市の施設以外にどのような場所があるか、またそのような施設に通う児童生徒の出席日数はどのようになっているのか伺う。

答 教育長 本市施設以外では、現在フリースクール2施設を把握している。出席日数の取り扱いについては、フリースクールで行っている学習やさまざまな活動が、学校に来ているのと同じように子どもに対する学びとして成立しているのかどうかを確認する必要がある。一番大事な事は情報の共有であり、校長を含め担任や関係者がその子どもの活動の様子を実際にしっかりと確認し、学びとなる充実した活動が送れていることが確認できれば、学校に来ているのと同様に出席日数としてカウントする流れになっている。

手話言語条例について

問 今年4月に施行された手話言語条例について、聾者への理解や、コミュニケーション手段として手話が言語と同じようにあるんだということを教育現場から浸透させていくことが必要であると考えますが、福祉部門と学校教育部門が連携した中で普及方法の考え方について伺う。

答 保健福祉部長 幅広く活用できるパンフレットを作成し、学校などの教育機関も含めて配布し理解を深める。児童生徒への普及方法は、教育委員会と協議しながら進めていく。



適応指導教室 ふれあい



星 宏子議員



地区防災計画策定の推進について

問 地区防災計画策定は県が進めている事業だが、今後市内全域に広げていく考えは。

答 総務部長 今後検討していく。

問 自治会や自主防災組織、コミュニティーに声をかけていく考えはあるか伺う。

答 総務部長 コミュニティーや自治会の中の一部の地区など、地区の実情に合った計画が策定できるように働きかけていきたい。

要害公園の管理について

問 上塩原にある要害公園は、塩原湖成層が間近に見られ、市内の小学校においても子どもたちが校外学習に訪れ学習している。塩原湖成層は、35～40万年前に大規模な大田原火砕流が発生し、塩原カルデラを形成したもので、自然が織りなす美しい地層を数百mにわたり見ることができる。かつては公園として整備されていたが、近年は歩道のみ雑草を下刈りするのみで、地層も木に覆われつつあり、湖成層が見られなくなることに懸念を抱いている。つり橋も含め公園管理を適正に実施することにより、新たな塩原の魅力発信の場になると考えることから、管理の方針について伺う。

答 市長 県と管理協定を結んでおり、市が草刈等を実施している。今後県と協定を深め、地元とも何かできればと考えている。つり橋は、橋梁点検中であり、令和4年度から修繕を予定している。先日、要害公園までは行かなかったが、塩原の新緑の中でガストロノミーウォーキングをさせてもらい、本当に素晴らしい地域だと再確認した。



要害公園の湖成層



星野 健二議員



3歳児健診における視力検査について

問 本市の3歳児の視力検査の現状と課題について伺う。

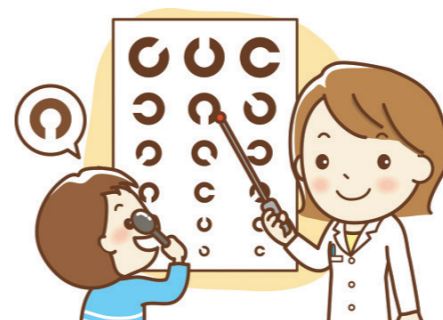
答 保健福祉部長 健診の案内通知に同封した目に関するアンケートの記入、片目ずつ4つの絵カードが見えるかどうかの検査を家庭で実施をしている。家庭で検査が実施できなかった場合や、絵が幾つか見えなかったお子様には、健診当日、会場で改めて検査を実施している。アンケート項目も考慮した上で、要精密検査と判断したお子様には、眼科の受診をお勧めしている。課題については、言葉の遅れや動きが多いお子様などは、目の検査ができないことがある。

問 幼稚園や保育園での視力検査は行っているか。

答 子ども未来部長 毎年全ての園において、全児童の検査をしている。昨年度については、全児童858人検査をして、要精密検査となったお子様は、26人であった。

問 今後、3歳児健診において屈折検査機器スポットビジョンスクリーナーを導入する考えは。

答 保健福祉部長 スポットビジョンスクリーナーは県内では25市町のうち12市町の約半数が導入しているという状況。絵の検査での目の異常の発見率はおよそ3%前後であるが、スポットビジョンスクリーナーを使用することで発見率が17%に上昇する。このような状況を判断し、暗い検査室の設置や人的なものも含めてクリアして、導入に向けて前向きに検討はしていきたい。



三本木直人議員



那須塩原市都市計画道路3・3・4号東那須野東通りについて

問 都市計画道路3・3・4号東那須野東通りは、東北本線をアンダーパスし、国道4号、さらにその先まで整備されることで那須塩原駅周辺の活性化などが図られるものと考えており、今般整備を進めるとのことから、その意義について伺う。

答 市長 当路線の整備は栃木県北の玄関口として、30万人構想を進め、今後の駅周辺のまちづくりのための重要施策であると考えている。今後、国道4号から大田原市との行政境についても、東小屋・黒羽線のバイパス整備として県に強く要望を行っていく。

問 整備時期について伺う。

答 建設部長 今後、測量・地質調査、設計等の業務委託を行い、関係機関との協議を進めていく中で工事の着手時期を精査していきたい。完成までにはおおむね10年程度を予定している。

問 道路整備の延長や構造など、概要について伺う。

答 建設部長 区画整理事業の完成部から東北本線をアンダーパスで通過し、国道4号までの約700mを車道4車線、両側歩道で、幅員は22mから37mで整備する。

問 この整備による効果を伺う。

答 建設部長 当路線は、栃木県及び大田原市と連携を図り、地域間ネットワークの強化を図る道路の一部となることから、他市町、県外等から那須塩原駅へのアクセス性の向上、周辺道路の渋滞の緩和、災害発生時の代替路線としても有効であり、県北地域拠点として那須塩原駅周辺の活性化にも寄与するものである。



都市計画道路3・3・4号整備予定地



山形 紀弘議員



デジタル格差の情報解消に向けた高齢者等の支援について

問 新設したデジタル推進課の役割と目的を伺う。
答 企画部長 今年度、国でデジタル庁が創設されるので国の政策の流れやDX化・IT化推進に素早く対応するために新設した。
問 通信情報事業者との連携でデジタル格差問題解消に取り組む考えはあるのか。
答 企画部長 携帯ショップ等の通信情報事業者と連携し、みるメールや市の公式LINEの登録デジタル機器の操作に関するサポートを行う。
問 ICT機器利用促進のための公共施設のWiFi整備や自治会等へのICTの支援について伺う。
答 企画部長 公共施設のWiFiは既に庁舎や一部の公民館では整備されている。未整備の公民館についても現在整備を進めている。ICTの支援として一部の公民館でデジタル格差解消に向けた、初心者や高齢者向けのICT講座を検討していく。

脱炭素社会の実現に向けて

問 2030年度までに市単独で削減目標45%を目指していくのか。
答 気候変動対策局長 現在、地球温暖化対策実行計画の改訂作業をしている。本市に適した温室効果ガス排出削減の取組と併せて削減目標を検討したい。
問 2050年までのロードマップを作成するのか。
答 気候変動対策局長 2050年の目標に向けて、まずは2030年までの実現可能な施策を実行することが重要で、改訂する計画に示していきたい。



※DX…進化したIT技術を浸透させ、人々の生活をより良いものへ変革させる概念



小島 耕一議員



コロナ禍における選挙投票率の低下と対策について

問 4月の市議会議員選挙の投票率低下の要因は。
答 選挙管理委員会事務局長 新型コロナウイルス感染症のまん延の他、若年層世代の選挙に対する関心が低いことが要因と考えられる。
問 市では、数年後に有権者となる中高生を対象とした出前講座、模擬投票を行うとのことだが、具体的にどのように行うのか伺う。
答 選挙管理委員会事務局長 令和2年に議会との共催で取り組み、啓発にもつながったことから、議会と連携して取り組んでいく予定である。
問 コロナ禍で投票所に行けない高齢者が多くなっていることから、ドライブスルー方式の期日前投票所を造ってはどうか。
答 選挙管理委員会事務局長 ドライブスルー方式は、屋外になることから悪天候時の投票用紙の濡れや飛散が心配され、同乗者がいる場合、投票干渉の恐れがあり慎重な判断が必要である。

いちご一会とちぎ国体等の那須塩原市における競技の開催について

問 飾花などの競技会場の充実について伺う。
答 教育部長 リハーサル大会では、小中・義務教育学校30校に全部でプランター300基をお願いしており、本大会では2,100基をお願いする予定である。
問 県全体の花いっぱい運動の取組は。
答 教育部長 一区町自治会が県主催の花いっぱい運動に参加しており、自治会連絡協議会の総会にも出席して国体のPRと協力をお願いしている。



鈴木 伸彦議員



道路の管理について

問 傷んだ道路舗装の修繕や未舗装の道路の整備についての計画は、どのように立てているか伺う。
答 建設部長 道路舗装修繕基本計画に基づき整備を行っている。また、未舗装道路の整備については、道路の特性や条件などを評価項目に定めた現況調査表により事業の優先順位を定めている。
問 市民からの要望に対する市の対応・説明は十分理解が得られているか伺う。
答 建設部長 計画や優先順位の根拠を示すことで一定の理解は得られている。砂利道の舗装化に関しては、市内には多くの砂利道が残されており対応に時間を要しているのが現状である。
問 公共性の高い私道を今後舗装することに関し、市はどのような方針を立てているか伺う。
答 建設部長 公共性の高い私道であっても個人等の財産であるので、市の方針を定めることはない。なお、生活道路となっている私道等は補修や整備に関する支援制度があるので活用いただきたい。
問 市全体予算の中で舗装修繕費は7,000万円である。道路課としては自主的に住民サービスをするためにデータを取り、市民の声を聞いて、これだけの財源が必要であると積み上げた予算の要求の仕方もあるのではないかと伺う。
答 市長 僕は本市の道路は立派だと思う。市の総合的な話にはなるが、政策の予算配分はベストミックスという考え方がある。いきなり全部ブラッシュアップするのはなかなか難しいが、市民ニーズに合わせていければと思っている。道路に関しては、要望が多いので、議員の心情もわかるが、善処したいと思う。



市管理道路砂利道の現状



堤 正明議員



ドアtoドアのデマンド交通の実現について

問 那須塩原市では市民がいつまでもこの街に住み続けたいと望んでいる。自宅から目的地まで自由に利用できるドアtoドアのデマンド交通をどのようにして実現していくか。
答 市長 本市の福祉と高齢者のタクシー券、ゆータクは、予算規模で見ると年間1億6,100万円かかっている。これをしっかりベストミックスする必要がある。現段階でドアtoドアのデマンド交通を導入する予定はないが、まず市にあるべきデマンド交通をしっかり探っていく必要がある。
問 本市の那須塩原市地域公共交通網の形成計画では、市全体の公共交通サービス圏域の人口カバー率が74.5%である。今後の課題では、公共交通サービス圏以外の人への移動手段の確保が必要だと述べている。今後どのようにして空白地帯の方の移動について考えているか。
答 市長 デマンド交通の在り方、これを今後考えていく必要がある。一方で、ドアtoドアを未来永劫やらないということはない。例えば、公民館を一つの単位としてやっていく。私の感覚ではあるが、よりニーズに合い、かつ効率も考えるということでは悪くないと思っている。
問 宇都宮市、日立市のデマンドタクシー実証実験等、先進的な取組をしている自治体を本市はどう捉えているか。
答 市長 デマンド交通でもなく、料金設定等まだ考えていないが、無人の自動運転のグリーンモビリティを塩原地区で考えている。ICTやテクノロジーを使った自動運転などは、今後地域の公共交通を考える上で、必要不可欠だと思っている。





中里 康寛議員



ヘルプマーク・ヘルプカードの普及及び啓発について

問本市のヘルプマーク等の普及あるいは認知度について所感を伺う。

答保健福祉部長 十分な啓発活動はできていない。

問必要としている人だけでなく、多くの市民がヘルプマークを理解していないと意味がないと考えるが、配布対象者以外の人への周知方法は、

答保健福祉部長 市や県のホームページ、市広報紙のほか、障害福祉関係者や民生委員等の会議、イベント、障害者差別解消法の出前講座などで周知を行っている。

問認知度を高めるためにどのようなことを考えているのか。

答保健福祉部長 ホームページ、広報等で啓発をしているが、なかなか行き渡らないのが現実である。今後、SNSなどを活用し啓発していきたい。

問本庁や各支所の待合所のテレビ画面でPRしたり、那須塩原市役所LINEの「お知らせ」の中でヘルプマークのPRをしてはどうか。

答保健福祉部長 啓発の手法として有効な手段である。今後できるように検討していく。

問平成30年12月に本市の3つの駅に協力を要望し、事業元である県を通してJRに協力を呼びかけていただいたが、ポスター掲示はなかった。自治体のヘルプマークに対する認識の変化も考えられるため、改めて協力を呼びかけてはどうか。

答保健福祉部長 当時は、参加している県、していない県があるため受け入れられなかったが、改めて県やJRと協議・連携してみたい。



市議会レポート①

全国市議会議長会から表彰

市議会議員として20年在職した議員に対し、全国市議会議長会から、市政の振興に貢献したことにより、表彰状が贈られました。



議員在籍20年の表彰を受けた齋藤寿一議員

市議会レポート②

議会改革度調査で過去最高位を記録

那須塩原市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所が議会改革の取組状況などを把握するために行っている議会改革度調査において、過去最高となる13位を記録しました。

市内の高等学校と開催した議会報告会及び意見交換会や、コロナ対策として常任委員会などをオンライン開催できるよう規則を改正したことなどが評価されました。



INFORMATION

インターネット録画映像配信中！

本会議の様子は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。

スマートフォンをご利用の方

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、6月定例会議の様子を動画でご覧になれます。

※動画は通信量が多いため、Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。

スキャン！



クリック！



パソコンをご利用の方

また、【那須塩原市議会中継】でインターネット検索すると、議会中継のページが見つかります。

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。

公式記録は会議録でご確認ください。

※録画映像は、会議当日より約1週間経過後からご覧になれます。



クリック！



議場に行けなくても、議会の様子を見ることが出来るモ～★

Future

～わたしの夢～ No.16

那須清峰高等学校 3年

くろさか ひろき

黒坂 大希さん

信頼される人になりたい

私の将来の夢は、これまで出会った先輩たちのよ
うな、後輩たちから信頼される人になること
です。私が考える信頼される人の条件は、周りに優しく
自分に厳しいことです。誰に対しても礼儀正しく、後
輩たちにも優しく接してくれて、努力をし続けている
先輩たちを今も尊敬しています。

野球は個人の能力だけでは勝てないスポーツなの
で、チームワークを育てるためにも、一人一人の人間
性がとても重要です。グラウンドに立っている時だけ
でなく、普段の学校生活から挨拶などの礼儀を大切に
することで、周りからの信頼を得ることができ、それ
が試合結果に結びついて、野球でお世話になった方々
に恩返しできたらと考えています。

後輩には、自身の行動を通して、場面に応じた適切
な行動を取るにはどうしたらいいかを伝えたいです。



入学当初は自ら率先して行動するタイプではなく、
どこか頼りなさがありました。最上級生となっ
てからは投手陣をまとめ自ら率先して動く
ようになりました。夢の実現に向けて頑張る
黒坂君を推薦します。

(野球部顧問 君島健友先生談)

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	9/1	2	3	4
					本会議 開会	
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 会派代表質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問・議案質疑	
12	13	14	15	16	17	18
	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会		
19	20	21	22	23	24	25
					予算常任委員会 決算特別委員会 議員全員協議会	
26	27	28	29	30	10/1	2
	本会議 閉会					

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネット中
継を活用した傍聴にご協力ください。

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。
本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

広聴広報委員会発足



後列左から
齊藤誠之、小島耕一、森本彰伸、室井孝幸、山形紀弘
前列左から
星宏子、中里康寛(委員長)、益子丈弘(副委員長)、林美幸

編集後記

今年4月に改選され、5月1日より新たに広聴広報委員会が始まりました。これより2年間、この「ざかいのひととき」をはじめ、市民の皆さまとの意見交換会や小中高生への主権者教育など、那須塩原市議会のインフォメーションセッションとして、市議会をより身近に感じていただけるよう企画してまいります。

さて、暑い日が続いていますね。ギラギラと照りつける太陽の下でいっぱい汗をかき、美しい夕焼けに寒蝉の鳴き声が聞こえるとても癒されます。とても短い夏、みなさんいかがお過ごしでしょうか。体調管理などくれぐれもご自愛ください。今後も市民の皆さまに手に取って、読んでいただけるような、読みやすい議会だよりを広聴広報委員一丸となって取り組んでいきますので、よろしくお願いたします。(中里康寛)

市議会の詳しい情報は、那須塩原市議会のホームページをご覧ください。

那須塩原市議会

検索